

科目名		経営情報特論(Advanced Management Information Systems)							
学 年	専 攻	単 位 数	必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第2学年	経営情報工学専攻	2 単位	選択	講義	前期	90 時間			
担 当 教 員		【常勤】 教授 松野 成悟							
学 習 到 達 目 標									
科目の到達目標レベル	(1)企業間情報ネットワークのしくみと役割について理解できる。 (2)EDIのしくみと企業間情報共有時の諸問題について考察できる。 (3)情報化投資の意義と課題ならびに評価手法について理解できる。								
到達目標 (評価項目)	優れた到達レベルの 目安	良好な到達レベルの 目安	最低限の到達レベルの 目安	未到達レベルの 目安					
到達目標 ①	企業間情報ネットワークのしくみと役割について理解できる。 8割以上	企業間情報ネットワークのしくみと役割について理解できる。 7割以上	企業間情報ネットワークのしくみと役割について理解できる。 6割以上	企業間情報ネットワークのしくみと役割について理解できない。 6割未満					
到達目標 ②	EDIのしくみと企業間情報共有時の諸問題について考察できる。 8割以上	EDIのしくみと企業間情報共有時の諸問題について考察できる。 7割以上	EDIのしくみと企業間情報共有時の諸問題について考察できる。 6割以上	EDIのしくみと企業間情報共有時の諸問題について考察できない。 6割未満					
到達目標 ③	情報化投資の意義と課題ならびに評価手法について理解できる。 8割以上	情報化投資の意義と課題ならびに評価手法について理解できる。 7割以上	情報化投資の意義と課題ならびに評価手法について理解できる。 6割以上	情報化投資の意義と課題ならびに評価手法について理解できない。 6割未満					
学習・教育到達目標		(C)②		JABEE基準1(2)		(d)-(1)			
達 成 度 評 価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合		50		50					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】		◎		◎					
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】		○		○					
汎用的技能 【論理的思考力】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									

関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材	
関連科目	経営管理特論
教科書	なし
補助教材等	プリント
学 習 上 の 留 意 点	
担 当 教 員 か ら の メ ャ セ ー ジ	
本授業では、インターネットを基盤とする今日的な情報革命とデジタル経済の展開をふまえ、情報システムが果たす社会的・企業経営的な役割について学習する。具体的には、情報システムの種類や特徴に関する基本的な認識を深めるとともに、企業間情報共有基盤としての電子データ交換(EDI)システムやeコマースの現状と動向などについて考察する。また、情報化投資の評価手法について演習も交えながら学習する。そしてさらに情報システム、経営組織、および経営戦略の三者間の適合関係についても検討していきたい。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	・ シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、評価方法などを理解できる。	
2	経営組織と情報システム①	・ 経営管理の機能と技術、情報システムとの関係を理解できる。	練習問題に取り組む。
3	経営組織と情報システム②	・ 情報戦略の策定と情報統括役員（CIO）の役割を理解できる。	練習問題に取り組む。
4	情報システムの運用と管理①	・ 各種情報システムの形態と特徴、ならびにクラウドコンピューティングの進展を理解できる。	練習問題に取り組む。
5	情報システムの運用と管理②	・ 情報システムのアウトソーシングの形態と特徴を理解できる。	練習問題に取り組む。
6	情報化投資①	・ 情報化投資の評価手法を理解できる。	練習問題に取り組む。
7	情報化投資②	・ 情報化投資の評価手法を理解できる。	練習問題に取り組む。
8	情報化投資③	・ 情報化投資の評価手法を理解できる。	練習問題に取り組む。
9	企業間電子商取引とEDI①	・ eコマースの現状と動向について、B2BおよびB2Cの概要を理解できる。	練習問題に取り組む。
10	企業間電子商取引とEDI②	・ 電子データ交換（EDI）のしくみと史的発展過程を理解できる。	練習問題に取り組む。
11	企業間電子商取引とEDI③	・ EDIデータの二次利用と決済、ならびに電子商取引に関する法規について理解できる。	練習問題に取り組む。
12	オープンネットワークと企業間連携①	・ 供給連鎖管理（SCM）の概要を理解することができる。 ・ グリーンSCMの概要を理解することができる。	練習問題に取り組む。
13	オープンネットワークと企業間連携②	・ 製品アーキテクチャとモジュール化の概要を理解できる。	練習問題に取り組む。
14	オープンネットワークと企業間連携③	・ 企業間における情報共有のモデル化について、トレーサビリティシステムを理解できる。	練習問題に取り組む。
	学年末試験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・ 試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・ 全体の学習事項のまとめが理解できる。	
総 学 習 時 間 数			90 時間
講 義			30 時間
自学自習			60 時間